

鹿児島県徳之島町 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

(1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2023年	2024年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	島内在住のテレワーカー数【8.2,8.3】	2021年 5人	2022年 6人			2030年 30人	4%
2	ふるさと納税返礼品数（地域資源を活用し地域社会・自然環境に好影響を与えるもの）【9.4,9.b】	2021年 300件	2022年 350件			2030年 450件	33%
3	学校外におけるプログラミング教室数【4.3,4.4】	2021年 1教室	2022年 1教室			2030年 3教室	0%
4	集落の特性や既存の取組を活かした交流事業者数【11.3,11.a】	2021年 1件	2022年 3件			2030年 10件	22%
5	地域学（環境教育等）カリキュラム実施校数【12.8】	2021年 4小学校区	2022年 5小学校区			2030年 8小学校区	25%
6	アミノクワサギのロードキル数【11.4,15.5】	2021年 16件	2022年 147件			2030年 10件	-2183%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2022年～2024年）

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度（%）
1	クリエイティブコミュニティの構築	島内在住のテレワーカー数	2021年 5人	2022年 6人			2024年 10人	20%
2	結いの精神でつなぐエコビレッジコミュニティの再興	コミュニティ（集落等）との協働で生まれた商品数（旅行体験商品、ポグナカル商品等）	2021年 0件	2022年 4件			2024年 10件	40%
3	結いの精神でつなぐ持続可能な環境保全	赤土等の流失防止取組件数	2021年 1件	2022年 1件			2024年 3件	0%
4	結いの精神でつなぐ持続可能な環境保全	多分野連携した環境保全の取組	2021年 1件	2022年 3件			2024年 10件	22%

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

【経済】

プログラミング教室も6期目になり、高校卒業後に徳之島を離れる元受講生もできています。中には、No1.島内在住テレワーカーとして働くという意思をもった子たちも現れており、理想的な流れができています。また、No2.地域資源を活用したふるさと納税返礼品も増えてきているが、持続可能な集落の実現という面では、まだモデルになるような取り組みができていない。

【社会】

集落・民間事業者・行政が連携した、No4.集落特性を活かした交流事業が年々増加しており、事業を実施する中で、地域内での対話が活性化してきている。また、大学と集落が連携して創出した集落歩きツアーができるなど目標達成に向け順調に推移している。No3.学校外におけるプログラミング教室については、メンターの育成が必須となってきており、今後、注力していかなければならない課題となっている。

【環境】

世界遺産の島だという認識が深くなってきており、住民の環境保全活動に対する自主性が高まってきている。しかし、赤土等の流失を防止する取組については、進捗が芳しくないため速やかな現状調査と対策をする必要がある。また、No5.地域特性を活かしたカリキュラムを実施する学校も増えてきており目標達成に向け順調に推移している。No6.アミノクワサギのロードキル問題については、生息数が増えているという状況もあり、ロードキル数が増加してしまっており、ロードキル数の減少に向け、あらたな施策を立案する必要がある。

【共通】

各項目において目標値を設定しているが、事業を進めていく中でロードマップが必要と考えおり（R6策定）、本年度中にロードマップ策定準備事業を実施予定。